

会議顛末書

						記 録 者	徳安 柚花	
供 覧	教 育 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 係	査 長	グ ル ー プ 員
	/							
件 名	令和6年度第2回子ども読書活動推進委員会会議							
年 月 日	令和7年2月13日（木）							
時 間	午後2時～3時							
場 所	龍ヶ崎市立中央図書館2階 鑑賞室							
出 席 者	<p>【委員】 坂本委員、飯塚委員、中山委員、佐子川委員、下田委員、長谷川委員</p> <p>【図書館指定管理者】 米川館長</p> <p>【事務局】 〈文化・生涯学習課〉松崎課長、清水課長補佐、由利係長、記録者 〈教育総務課〉名島課長 〈指導課〉大貫課長補佐 〈こども家庭課〉木村課長補佐</p>					傍 聴 人 数	0 人	
事務局 (徳安)	1 開会 会議の成立（10名の委員のうち6名が出席し、龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第6条第2項に規定している委員定数の過半数以上の出席）							
課 長	2 あいさつ							
事務局	（委員の紹介） （事務局、担当課等の紹介）							
事務局	3 委員長・副委員長の選出 （委員長として飯塚委員、副委員長として中山委員を提案。各委員異議なし）							
議 長	4 議 事 ※議長：龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例第5条第2項により、飯塚委員長が会議の議長を務める。 （議事録署名人として中山委員を指名。各委員異議なし）							

議長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>次第に従いまして、「第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和7年度取組計画（案）」について、各担当課より説明をお願いします。</p>
担当各課	(資料に基づき説明)
議長	<p>担当各課からの説明が終了しましたので、質疑に入ります。ご質問やご発言のある委員は挙手をお願いいたします。</p> <p>佐子川委員、どうぞ。</p>
佐子川委員	<p>5ページの「子ども読書の日、こどもの読書週間、読書週間の周知」についてです。移動図書館車という新しい取り組みについて記載がありますが、現在わかる範囲でもいいので、どう活用をしていくのか詳しくお伺いしたいです。</p>
事務局	<p>移動図書館車は来年度の新事業になりまして、子どもたちを主なターゲットとして想定しています。例えば、土日に多くの子供たちが集まる竜ヶ丘公園のような公園に本はありませんので、そういったところに出向けるよう調整しながら、事業を進めていく予定で考えております。</p>
議長	<p>今の回答を聞いて、またご意見などありますでしょうか。</p>
下田委員	<p>移動図書館車は素晴らしいアイデアだと思いますが、初めからLiBOONという名前が決まっているのはどういうことなのでしょう。もうすでにどこかで実施されているパッケージをそのまま持ってくるということですか。</p>
事務局	<p>図書館の管理運営には指定管理者制度という制度を導入しています。これまでシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が10年間指定管理者として運営してきたところですが、この4月から別の指定管理者に代わることになります。その事業者が全国規模で行っている移動図書館車が龍ヶ崎市に導入されますので、そのサービスの名称を記載しています。</p>
議長	<p>他にご質問等ありますか。中山委員。</p>
中山委員	<p>6ページの「学校図書館の蔵書内容の充実」に、新聞を教育に活用するための新聞を複数配備とあります。子どもたちが自分で新聞を作るというような取り組みもやっているかと思いますが、配備してあるのは大人と同じ新聞なのか子ども向けの新聞なのかなど、細かいことを教えていただきたいと思います。</p>
教育総務課	<p>各学校には図書も含めて一人当たり大体2000円を目安に、児童生徒が約5000人ですので、全部で1000万程度の予算を学校に配分しているところがございます。新聞の選定と購入につきましては、学校にお任せしてお願いをしているところです。</p>

議長	中山委員、どうでしょうか。
中山委員	家庭でも新聞を取らなくなってきていますので、こういう取り組みは大事なことだと思います。
議長	ありがとうございます。それぞれの課の取り組みについて、他にも皆さんからご質問やご意見をいただきたいと思いますが、どうでしょうか。
佐子川委員	同じく「学校図書館の蔵書内容の充実」についてです。学習用の資料は古い内容になると使えなくなってしまうと思いますが、図書標準の冊数の基準を満たすために古い本でも廃棄ができない状況があると新聞記事などで読んだことがあります。龍ヶ崎市には何年以内に発行されてるものといったような年数の基準があるのかお伺いしたいと思います。
教育総務課	年数の基準までは把握していませんが、毎年夏休みに学校司書が集まって各学校の状況を共有し、図書の選定や廃棄といったことについて情報交換をしながら、積極的に古い図書の廃棄をしているところです。「学校図書館図書整備等5ヵ年計画」の図書館司書数や図書冊数、図書に関する予算などのすべての項目で、本市は目標を上回っていますので、図書の更新は十分行うことができていると考えています。
議長	他にどうでしょうか。長谷川委員。
長谷川委員	7ページの「教職員の理解の促進」の達成目標に、小中学校における計画的な読書活動の実施率100%とありますが、ここでいう読書活動とはどのようなものになるのでしょうか。
指導課	小中学校における計画的な読書活動としては、週に数度行っている朝の読書活動や図書室を活用した授業などがあります。中でも、多くの学校が朝の読書活動に力を入れてくださっています。
議長	今の施策は、子どもたちというよりは教職員の理解や取り組みについての施策というように読めるのですが、それでよろしいですか。
指導課	そうです。教職員が積極的に研修に参加し、その成果を活用して実際に子どもたちが読書できる環境をつくるといったものになります。
議長	ありがとうございます。本当にお忙しい中、先生たちが読書活動を進めてくださっているということは本当にありがたいことだと思います。坂本委員、学校の先生の立場から子どもたちの様子や先生方の様子など、わかる範囲で構いませんのでご紹介いただけますか。

<p>坂本委員</p>	<p>今お話にあったように龍ヶ崎中学校では登校してから朝の会が始まるまで読書をする朝読の時間を設けています。子どもたちにも定着してきています。短い時間でも集中して本を読む時間が確保できていると感じています。それから授業の中での取り組みとしては、様々な単元で必要な資料を学校司書にご相談すると、市立図書館とも連携して本の貸し出しをしてくださるので、そのように活用させていただいています。</p> <p>そのほか図書委員会の取り組みとして、生徒の読書率をあげるために子どもたちが学校司書と協力して色々なイベントを考えています。例えばバレンタインの時期にはハートのメッセージカードを用意しておすすめの本を紹介するコーナーなどを作ったり、クラスごとに読書量を競うようなゲーム感覚を取り入れた取り組みをしたり、子どもたちがたくさん本に触れてもらえる機会を増やそうと頑張っています。</p>
<p>議長</p>	<p>今の中学生の読書の様子や傾向など、気になっていることについて少しお話いただけますか。</p>
<p>坂本委員</p>	<p>中学生にとって読書時間の確保が難しいということについては、毎回お話しさせていただいています。利用率の高くなってきている携帯やSNS等に時間が割かれ、朝読以外に家で読書するといったことが少なくなっています。夏休みの課題として読書の目標冊数を設定しても、結局1冊も読まない子もいますので、もう少し子どもたちに読書の良さを伝えられればと思います。</p> <p>本を読まないことで想像力がないとか先読みができないとか、ここでごくしたらこんなことが起きるだろうというようなことを、書いてある言葉から想像することがすごく苦手な子が多くなったなど実感しています。</p>
<p>議長</p>	<p>私たちの幼児施設では外国籍の子供たちが増えてきていまして、日本語が全く理解できないというケースも多いのですが、そういった子たちの読書について先生方はとてもご苦労が多いんじゃないかと思います。それについて何か要望があればお聞かせいただけますか。</p>
<p>坂本委員</p>	<p>そういった外国籍の子どもたちも読めるような本の要望をしたいと思っていました。現在も日本語が全く話せない生徒が何名か在籍しているので、そういった子たちが日本語を学ぶ助けになる入門書のようなものがあつたらいいなとすごく感じています。ネットにもそういったサービスはあるのですが、なかなか上手くヒットしなかったり、音声を出さなくてはいけなかったりするので、書籍やかるたのようなものを使って、日本語を身近に感じて勉強できるものがあつたら嬉しいなと思っています。</p>
<p>市立図書館</p>	<p>市立図書館には英語の絵本は何冊かありますが、外国籍の小中学生向けの外国語と日本語をつなぐための図書についてはなかなか見つからないと思います。ただ、電子図書には読み上げ機能や翻訳ができるものがありますし、同じ</p>

市立図書館	<p>絵本の多言語版がそろっていますので、日本語版と外国語版を見比べながら読むといった取り組みはできると思います。</p> <p>外国籍の子どもたちの助けになるような本について、今後の課題として受け止めさせていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございます。これからもっと増えると思われる外国籍の子どもたちが読書を通して日本で生きていく力をしっかり育てていくということが大事な視点だと私も思っています。今、坂本委員からもご意見ありましたので、ぜひ今後、各課でも覚えていただけるといいと思います。</p> <p>中山委員、どうですか。</p>
中山委員	<p>外国の方たちが多く日本に入ってくることをサラダボウル化というそうですが、子どもも大人もいろいろな方が来ることに社会の方が慣れていない現状もあるかと思います。これからの子どもたちが受け入れられるように言葉は大事な要素ですので、すごく重要なことだと思いました。</p>
議長	<p>他に何かご質問などありませんか。</p>
中山委員	<p>以前、「私の折々のことばコンテスト」で中学生部門最優秀賞をとったエピソードについての新聞記事を読みました。中学受験に失敗して人生のどん底にいた子どもが母親に薦められた『赤毛のアン』を読み、主人公アンの言葉で自分の人生を強く生きられたということで、1冊の本でもすごい力があると思いました。大人が子供に本を読んでもらえるよう取り組んでいきたいと思いました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。積極的に質問、ご意見していただけることが一番大事ですので、他の委員からはどうでしょうか。</p>
下田委員	<p>私は松葉小学校で25年ほど朝の読み聞かせをしています。本の読み聞かせだけではなく本を一切使わない素話をすることもあります。全く絵がないので言葉が分からないと楽しめないものですが、外国籍の子もすごくよく聞いていましたので、小さい子であればあるほど言葉の覚えははやいと感じました。私がドイツで子育てをしたときも、子どもは日本語で知ってるお話をドイツ語の絵本で読むことで単語を覚えていました。</p> <p>すべての言語の絵本を取り寄せるのは無理だと思いますので、世界共通で有名な絵本を入れていただくとありがたいです。そして、ボランティアや両親など、助けてくれる人の力を借りることも大事ななと思っております。</p> <p>もう一点、3ページの「市立図書館における子供向けイベントの開催」のところですが、SP おはなし会は小さい子向けと小学生向けで3回ずつ行っていますので、年3回ではなく6回だと思うのですけれど、いかがでしょうか。</p>

事務局	<p>こちらの計画につきましては次期指定管理者が作ったものになりまして、今までの計画を引き継いで作っていただきました。来年度、実際に事業を行っていく中で、改めて事業計画や達成目標を見直してまいります。</p>
下田委員	<p>そうなのですね。「中央図書館の赤ちゃんタイムの実施」の達成目標についても、同じく現段階での予定ということによろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。赤ちゃんタイムを毎月実施する計画でありまして、目標としては赤ちゃんタイムに実施するイベントを取り上げさせていただいております。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他にどうでしょうか。 どうぞ、中山委員。</p>
中山委員	<p>たつこの図書館ではコーヒーが飲めて利用者が入りやすいようになっていますが、子どもや大人がどんなふうにご利用しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>まずは概要を話させていただきます。サプラモールの分館は、リラックスして入りやすい雰囲気の中ゆっくりと家にいるような形で本を読めるよう、コーヒーが飲める施設にしています。また中央図書館でも、蓋つきであれば飲み物を持ち込んで飲めるよう試行しているところです。4月からは中央図書館にもコーヒーマシンを置いて、本格的に蓋つきの飲み物の持ち込みを許可することで、くつろぎながら本を読める雰囲気を作っていこうと考えております。</p>
市立図書館	<p>市立図書館から利用状況についてご報告させていただきます。分館に設置してあるワークスペースは大変人気でして、利用時間前から並ぶ方もいるくらい定着してきたという感じで、利用率は高くなっています。中学生も勉強をしにくる方が大分増えている状態です。飲み物についても、アイスやLサイズのコーヒーのメニューを追加したところ、売り上げはだんだん上がってきている状態です。</p> <p>最初のころは、貸出できない図書館というコンセプトを受け入れられない方もたくさんいらっしゃったんですけれども、分館に行けばベストセラーの本でも読めるということで、利用率も高くなっているところであります。</p>
議長	<p>そういった取り組みにつきましても、親子向けに図書館施設やイベントを案内して利用促進を図るチラシを、年に1回くらいでもいいので、幼稚園や保育園や認定こども園から保護者に配布することができればいいと思いました。子どもたちが学校で読書できるように頑張っておられるけれども、親を啓蒙するというか、龍ヶ崎市にはこういう図書館がいろいろな活動をしているということ一人でも多くの人に知らせるといいと思います。やはり、今できる範囲の中で伝えていくことが計画に必要なだと思いますので、それを反映していただければと思います。</p> <p>それともう一つ、茨城県の子育てに関する会議でインクルーシブ教育や性の</p>

議長	<p>多様性が議題にあがっていました。今、このインクルーシブやジェンダーについての蔵書はどうなっているのかお聞かせいただきたいと思います。こういったことは非常に大事なことだと思っていて、特にジェンダーで言うと、誰にも言えないけれど自分の性について悩んでいる小中学生に対して、いろんな形があっていいということ、本を通して知って欲しいという思いがあるものですから、その点だけお聞かせいただけますか。</p>
市立図書館	<p>市立図書館にはLLブックがございまして、発行は少ないですが積極的に購入を進めているところであります。またそういったテーマの本についてはそれ自体少ないものでして、それでもできるだけ取り入れられるように選書しております。</p>
議長	<p>本の冊数が少ないので大変だと思いますが、やはり非常に大事なことだと私は思っていて、自分の性について悩んでいる子供たちが安心できるように日本の社会が変わっていかなくちゃいけない問題だと思っています。これからの時代に向けて大事な本もそろえてくださるよう、ぜひよろしくをお願いします。他にどうでしょうか。</p>
佐子川委員	<p>5ページの「ブックスタートの実施」についてです。これも毎回言わせていただいていますけれども、現在行われてるブックスタートは本来の形ではなく、本を渡してるだけになってしまっています。できればボランティアを入れて、絵本の意義をお伝えできるような本来の形のブックスタートをやりたいです。</p> <p>もう一点、学校おはなしボランティア同士でもっと交流できたらいいとボランティア同士では言っています。学校ごとに活動のやり方が違うので、2年後に長山小学校と松葉小学校が統合する際にも、いろんな学校のお話ボランティア同士で意見交換などができる交流会のような場があればいいと思いました。</p>
市立図書館	<p>まずブックスタートの読み聞かせボランティアについてですが、3～4ヶ月児健診を受け持っている健康増進課にブックスタートでの読み聞かせの再開をお願いしたいと、図書館の方でも思っているところです。4月に保健福祉棟が新しくできるということですので、それも含めてまた再開できるよう協議してまいります。</p>
事務局	<p>先ほどもお話した通り、来年度から指定管理者が変わりますので、新しい指定管理者や健康増進課も含めて、協議をしていきたいと考えております。</p>
議長	<p>何度も何度も同じことを言わせて申し訳ないと思いますが、大事なことに何度も発言して下さってることに私は心から感謝したいと思っています。読み聞かせについて庁内で調整していただけるよう、ぜひよろしくお願ひしたいと思っています。</p>

佐子川委員	<p>今の話と関連していることですが、4ページの「プレパパ・プレママへの読書啓発」の活動についてです。赤ちゃんが生まれる前に読み聞かせの見本を見せられるような、プレママプレパパ向けのおはなし会についても案の中に入れていただいて、健康増進課に同様にお働きかけいただけるとありがたいなと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。そういったお話含めて、健康増進課にご意見を伝えて、進められるようにしてまいりたいと思います。ありがとうございます。</p>
議長	<p>他に皆さんいかがでしょうか。事務局からどうぞお願いします。</p>
事務局	<p>本日欠席されている伊東委員からあらかじめご意見をお預かりいたしますので、事務局の方からご紹介させていただきます。</p> <p>小中学校の図書室は、利用日や利用時間が学年やクラスごとに決められているのですが、できる限り自由に子供たちが使えるようにしていただきたいと思います。例えば、学校に居場所のない不登校手前の子供たちが、朝の時間や休み時間に図書室で過ごすことができるようになるといいのではないのでしょうか、といったご意見でした。学校によって事情があることは重々承知の上ですが、検討していただきたいと思いますということで、伊東委員からご意見をいただいております。</p>
教育総務課	<p>学校司書がどういう取り組みをしているかだけでなく、いろいろな立場の子どもたちの悩みを司書が聞いたりしているということも聞き及んでいますので、そういった開かれた図書館は今後も継続していきたいと思っております。</p>
議長	<p>活発にご意見、ご感想をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>それでは、特にご質問がないようでしたら、第四次龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画令和7年度取組計画について承認したいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>(異議なし)</p>
	<p>5 その他</p>
議長	<p>次にその他に移ります。事務局から連絡事項等ありませんか。</p>
事務局	<p>特にありません。</p>

議長	<p>6 閉会</p> <p>他に連絡事項等がなければ、これで令和6年度第2回子ども読書活動推進委員会を閉会いたします。</p> <p>慎重なご審議、ありがとうございました。</p> <p>令和7年2月13日に開催された龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和7年 月 日</p> <p>議事録署名人</p> <p>_____</p> <p>議事録署名人</p> <p>_____</p>		
要措置事項			
情報公開	公開		
情報公開	公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条 号該当）